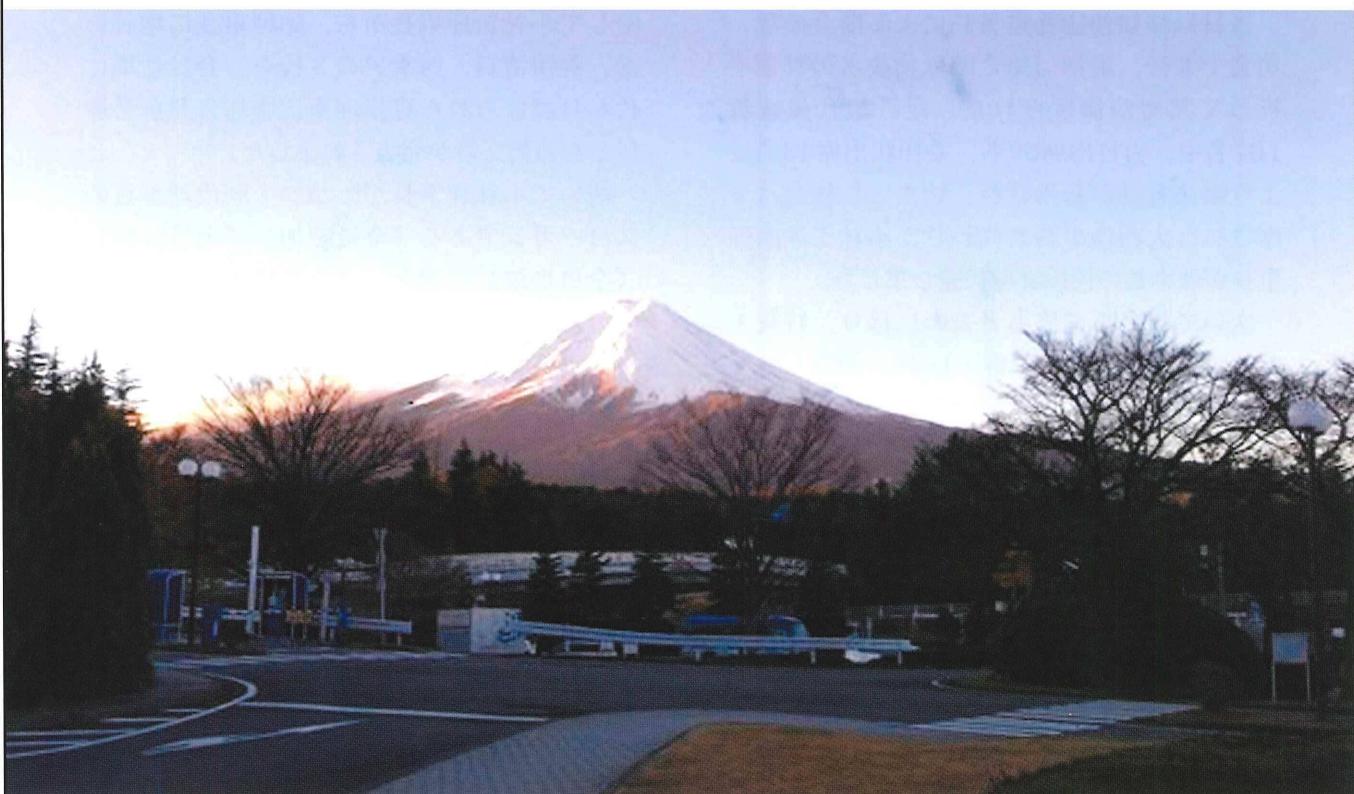


平成25年
第 85 号

大鉄協

9月20日
発行大阪鉄螺卸商協同組合
<http://www.daibyokyo.com>

世界文化遺産 富士山 中上善起

- ◇第43回通常総会 2
- ◇新三役就任挨拶 3~5
(小林理事長、増谷副理事長、谷川副理事長)
(西副理事長、勝亦専務理事)
- ◇2014年版ファスナーカレンダー 5~6
ねじ手帳など発刊
- ◇組合だより 6
- ◇あきんどcaféのご紹介
(大阪府商工労働部) 7
- ◇ねじ商連 第38期通常総会 8
- ◇第65回野球大会 8~9
- ◇委員会だより 10~12
- ◇支部だより 13~14
- ◇OS会50周年記念式典 14~15
- ◇OS会の貢(金田哲治、増谷圭祐) 15~16



- ◇隨想投稿欄 17~20
(宮本和彦、中島豊之、荒木智大)
(山里誠志郎、田原葉月)
- ◇卸売展示商談会 20
- ◇第39回ボウリング大会 20~21
- ◇第10回大鉄協親睦ゴルフコンペ 21
- ◇大西進前理事長逝去 21
- ◇JIS附属書問題のその後(西幸男) 22
- ◇第26回FE STセミナー開講 22~23
- ◇増谷副理事長があきんどCaféに 23
- ◇[シリーズ]私の宝物(勝亦謙介) 24
- ◇表紙のことば 24
- ◇今後の主な年間スケジュール 25
- ◇編集後記 25
- ◇協賛広告 26

新理事長に小林三洋氏を選出 第43回通常総会開催

第43回通常総会が5月24日“ヴィアーレ大阪”で開催され、平成24年度事業報告や収支決算、25年度事業計画、収支予算案など計9議案が上程され審議・決定されました。任期満了に伴う役員改選では、第15代の新理事長に小林三洋氏を選出し、同氏を中心とする新執行部人事が決定、組合運営に当たることになりました。

当日は桂知伸総務委員長による開会の辞、司会で進行、最初に組合関係物故者の冥福を祈って黙祷が捧げられました。組合員総数107名中、当日出席62名、委任状出席43名により議決有効が報告され、始まった総会は欠席された大西理事長に代わり、小林三洋副理事長が理事長の挨拶文を代読しました。

次いで組合事業協力者表彰に移り、特賞・6社、金賞・7社、銀賞・16社、銅賞・8社が受賞、代表して特賞のサンコーインダストリ一㈱はじめ計37社の各賞代表に感謝状と記念品が贈られました。また銅賞規定に満たない組合事業協力者（計15社）に対しても記念品が贈呈されました。

このあと和田正氏（ヤハタ）を議長に選出、①平成24年度事業報告、②同年度収支決算、③同年度利益金処分案、④平成25年度経費の賦課する額並びに徴集の時期及びその方法、⑤組合借入金残高の最高限度額、⑥平成25年度事業計画、⑦同年度収支予算案、⑧理事及び監事の選任、⑨その他一計9議案の審議に入りました。

このうち平成25年度事業計画は7項目の事業が決定、これに基づき総額9500万円余りの予算案が計上され、承認されました。

また理事及び監事の選任の件では、議長が役員の選出方法について諮ったところ、指名推薦方式の採用が決まり、池田哲雄氏を選考委員長とする計13名の委員により別室で協議が行われました。この結果、33名の理事候補、2名の監事候補が発表され、出席者の賛同を得て承認されました。

このあと新理事らによる第1回理事会が別室にて開催され、勝亦良彰氏から理事長に小林三洋氏を選任したことが報告されました。

そして小林新理事長から、副理事長に増谷彰彦、谷川清石、西幸男の3氏を、会計理事に代わり設けられた専務理事に勝亦良彰氏を選任したと新三役が発表されました。

続いて小林理事長が、かつて歴代理事長のスローガンである『全員参加』『全員行動』『全員飛躍』に加え、『全員感謝』の気持ちで組合員ともども運営に当たりたい旨就任挨拶を述べました。

また本総会にて理事を退任する大西進、藤本享司、藤田政秀、西沢千秋、高橋秀二の各氏、および監事を退任する金田哲治氏へ、組合運営の労を謝し、それぞれ小林新理事長から記念品が贈呈されました。

最後に、岡田眞治相談役・理事の音頭による万歳三唱とともに、勝亦新専務理事による閉会挨拶が行われ、総会を終了しました。

このあと大阪府商工労働部や大阪市経済戦略局、大阪府中小企業団体中央会、大阪卸商連合会、顧問税理士らの来賓多数を交え、由良豊一相談役・理事による乾杯の発声で賑やかに懇親会が開宴。組合員が相互に親睦を深め合うなか、午後6時過ぎ増谷彰彦副理事長の音頭による“大阪締め”を合図に、盛況裡に閉宴となりました。



大西理事長の挨拶を代読する小林副理事長(中央)

感謝の気持ちを持って

【就任挨拶】



この度理事長に選任されました小林でございます。就任にあたりご挨拶申し上げます。

浅学菲才でございます。理事長という大役をお受けできる器ではございません。三役、理事、そして組合員の皆様方のご支援ご協力、ご参加をもって何とか務めさせていただきたいと思います。

副理事長にサンワ・アイ・西様、谷安鈑螺・谷川様、増谷ボルト・増谷様を選任させていただきました。また、今期より専務理事を選任させていただきました。専務理事は定款にはありますが、今まで慣習的に会計理事という役職としておりました。専務理事を置く目的はあくまで三役会、理事会の活性化でございます。専務理事は三喜鈑螺・勝亦様にお願いいたしました。

そして総務委員長に久保製作所・久保様、経営委員長に三木製作所・三木様、労務委員長にコムウエル・フジサワ・藤澤様、業務委員長に垣内螺子商会・垣内様、福利厚生委員長にホンダ鈑螺製作所・本田様、広報委員長に弘陽工業・中上様、EDITION委員長に大喜多・大喜多様、JIS検討委員長に井上金属工業の井上様をそれぞれ選任させていただきました。

日本はこの30年間、1985年のプラザ合意による円高不況、1992~93年のバブル崩壊による不況、1997年のアジア通貨危機、2008年のリーマンショックなど10年に一度は必ず大きな環境変化に遭遇してきました。今後このような環境変化の発生する間隔はより短期化すると思われます。

その理由は①世界各国がグローバル経済というネットワークの中で相互に大きく依存しあうようになっていること、②インターネットの発達で世界の隅々の出来事が瞬時に世界に伝達されること、③市場主義的社会主义国家である中国の世界経済に占める位置が強まり、中国の政策変更が世界を大きく変動させるファクターになったことがあります。

理事長 小林 三洋

その中で日本は「少子高齢化」「円高による産業空洞化」「政治の弱体化」とリーダー不在の中で凋落しつつありました。昨年政権交代があり、アベノミクスにより円高は是正され、株価も戻しつつあります。しかしながら成長戦略は具現化しておらず、なお厳しい状況です。

鈑螺業界におきましても我々の扱い商品の鈑螺・ねじ・締結部品は生産財であり、幅広い業界に関わっており、厳しい状況で推移しております。

このような環境の中で、全国の同業者組合が岐路に立たされております。しかし、私ども大阪鈑螺卸商協同組合は順調且つ健全に運営されております。それは『全員参加』『全員行動』『全員飛躍』の精神が浸透し効果を上げ、歴代理事長の元、理事、組合員の協力があってのものであります。私はそれに加え『全員感謝』という気持ちをもって、組合運営にあたり、皆様と共に紡いで行こうと思っております。

組合の第一義の目的は相互扶助であります。相互扶助とは競争や闘争によってではなく、自発的な協同によって進歩するという考え方です。組合も60年以上の歴史を刻み、代表者も二世、三世が大半となっております。相互扶助という目的を少しでも達成するために歴代理事長、役員、組合員の皆様に感謝いたしますと共に、創業者に対する感謝、会社を紡いできてくれた役職員に対する感謝、家族への感謝、そしてお取引先様への感謝をお願いいたします。

しかし各社の経営環境は厳しく組合活動どころではないというのが現状であります。その中で企業規模が違い、商流も様々な我々組合員が自分たちの将来をどのように切り開いていくのか。組合は何をお手伝いすれば良いのか。非常に難しい問題です。

会社成功、存続の唯一の道は感謝の気持ちをもって社員、人を育てることだと信じております。

どうか皆様、今後とも感謝の気持ちを持って、ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。

副理事長就任にあたって

【就任挨拶】



この度の総会で、副理事長職を拝命いたしました増谷です。微力ながら二年間精一杯副理事長職を務めますので、先ずは皆様方の暖かいご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

副理事長としての一番の仕事は、執行部の一員として、小林理事長を盛り立てていく事と、伝統ある大鉛協の魅力を若い人たちと共に、伝えることも自分の責務だと思います。今、自分に出来ることはなにか、よく考えて大鉛協の為に尽力していきます。

先日の理事会に出席して感じたことですが、理事のメンバーが大幅に変わり、平均年齢も

副理事長 増 谷 彰 彦

随分と若くなり、若い方々の明るさと活力で、一層アイデアあふれる組合運営ができそうです。EDI委員会のこれから行動やNシステムの普及、業務委員会で扱っているカレンダー・手帳・クリアホルダーの販売方法、組合のホームページの完成度を高めていくなど、その他もうろもうろ取り組んでいかなければいけないことが、探せばいくらでもあります。また、業界の重要性もアピールしたいものです。

いたりませんが、組合運営にお役に立つよう努めてまいりたいと思っております。改めて、よろしくご指導賜りますように、皆様にお願いいたします、ご挨拶とさせていただきます。

副理事長就任に当たって

【就任挨拶】



今回の総会で副理事長就任となりました。微力ながら2年間精一杯副理事長職を努めますので、先ずは皆様方の暖かいご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

副理事長の一番大切な仕事は、執行部の一

員として、小林理事長を盛り立てて行く事です。そして伝統ある大鉛協の魅力を若い人達に伝えて行く事も自分の責務だと思います。

先日の理事会に出て感じたことですが、理事のメンバーが大幅に変わり随分と若くなつたと思います。

この様な状況の中で自分に出来る事はなにか、よく考えてこの大鉛協の為に尽力していきたいと思います。

感謝の心で

【就任挨拶】



この度、小林理事長のご指名により副理事長の重責を拝命いたしました。微力ながら責務を果たして参りますのでよろしくお願い申し上げます。

組合活動歴は、2009年JIS検討PJ委員に任

副理事長 西 幸 男

命され、JIS附属書廃止問題に大鉛協代表として検討会議に参加し報告会をさせて頂いたのが初仕事です。2011年に前大西理事長より理事のご指名を頂き、労務委員会とJIS検討委員の活動を委任されました。

JIS附属書問題も改正案の最終答申で当面の混乱を避けた状況ですが、今後は市場で本体規格と附属書JAの製品が併存すること

になり、管理と供給責任が重要になってきます。4年間組合の開催する事業に参加することで多くの勉強をさせて頂きました。事業を計画し実行を支えられる皆様方のご苦労に常々敬服と感謝で一杯であり、併せて参加することが如何に大切な実感させて頂きました。

多くの諸先輩の方が啓蒙して築かれました「全員参加」「全員行動」「全員飛躍」の精神が浸透された組合活動に、この度小林理事長は、三役に「全員感謝」の気持を持って運営しようと話されました。今回の就任に対し弊社熊田会長も、組合活動で今迄多くのお世話をなったことに恩返しをする機会を与えてくれたのだから頑張れと背中を押してくれました。

専務理事に就任して～専務理事って!?～

【就任挨拶】



この度、専務理事に選任して頂くに際し、多くの方々から「何をするの？」と問われました。そして、それらの方々が、専務理事というものに実際に様々なイメージを持たれておられる事を知りました。

「毎日、事務局に出勤するの？」といった事務局長に近いイメージから、学識経験豊かな高所大所から組合運営を指導されるものまであり、勿論私にはそのどちらも務まるはずはありません。

私は、「専務理事の役割」は2つあると考えております。まずは会計理事としての役割です。そしてもうひとつが、組合運営における

大鉛協HPの機関紙バックナンバー第1回(昭和45年)に、情報化の進む中で相互のコミュニケーションのため、組合員に知って欲しいこと、組合に加入したメリットを感じて頂くことが使命との記事がありました。昔も今も同じ「組合員の相互扶助の基本精神」に基づき、三役の一員として理事長を支え「生産地問屋」の組合傘下の企業が、ねじのプロである誇りと供給責任を果たし、社員の成長と会社の繁栄にお役に立てる組合運営の一端を担えるよう努めてまいります。

組合企業の皆様方には多くの組合事業活動にご参加を頂き、貴重なご意見とご指導をよろしくお願い申し上げます。

専務理事 勝亦良彰

る主に対内的な潤滑油としての役割だろうと考えております。

大鉛協は、組合員総会で決められた事業計画・事業予算を基本に、三役会・理事会・委員会で運営されている事はご承知の通りです。

この組織の中で、私が考える会計理事以外の専務理事の役割とは、理事長のご指示の下、組合活動の軸となる事務局の活性化を通じて、組合員の我々とより親密に連携させ、少ない負担で効率良く活動できるように調整の役割を果たすことだと思っています。

さてさて、この2年間でどこまでお役に立つ事が出来るか甚だ不安ではありますが、組合員の皆様のご指導を頼りに工夫を凝らしてまいりたいと存じます。

どうか宜しくお願い申し上げます。

2014年 ファスナーカレンダー ねじ手帳 帳 発刊

業務委員会 納期は11月20日予定

業務委員会(垣内龍夫委員長)は、かねてより2014年(平成26年)版ファスナーカレンダーや同ねじ手帳、A5ノート版ビジネスダイアリー、並びにクリアホルダーの発刊を進めてきましたが、いずれも7月末~8月下旬

で予約申込を締め切り、日本ねじ商連傘下の他組合および員外者からの受注を含め、現在それぞれ発行部数を集計中です。

2014年版ファスナーカレンダーはA2版三色刷り縦型、厚手の高級再生紙使用、表紙付

き 7 頁。綴じ方は環境に配慮したエコプレス(紙製)。今回も、カレンダー 6 枚の地色を 1 枚ごとに変更しています。

掲載ねじ製品写真は、市場価値の高い製品を選び、かつ一般に広く用いられるよう呼び名と英文名を付し、「ねじ製品の一覧表」としても利用できるよう配慮。加えて、イラスト入り“ねじ安全使用取り扱い”説明も更新しています。

2014 年版ねじ手帳は縦型(縦 150mm × 横 92mm)。ねじ一覧表・写真付き 12 頁。ねじ重量表、ねじ規格表 40 頁ほか、切り取りミシン付きメモ 16 頁など総 224 頁(鉄道路線図その他は一般手帳に準ずる)。

表紙高級ビニール装。栞(しおり)代わりのリボン、のし袋付き。

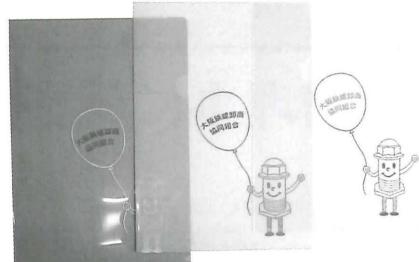
2014 年版 A5 ノート版ビジネスダイアリーは縦型(縦 210mm × 横 148mm)。総 208 頁(ねじ一覧表一写真付き 12 頁。ねじ重量表、ねじ規格表 40 頁。その他は一般手帳に準ずる)表紙高級ビニール装。のし袋付き。

クリアホルダーは今期から取り組んでいる新商品。縦 310mm × 橫 220mm で、風船を持ったねじキャラが配され、透明・黄・緑の 3 色セット。ファスナーカレンダーやねじ手帳と同様、社名印刷にも対応している。

クリアホルダー(3000 部完売・既納品)を除き、ファスナーカレンダーやねじ手帳、A5 ノート版ビジネスダイアリーは、年末・年始の贈答用として 11 月 20 日前後の納期に向け準備中です。



2014 年版
ねじ手帳(表紙)



1 セット 3 枚組みのクリアホルダー

組合だより

◇新社長就任

○東部支部所属

- ・株式会社 ヤハタ
代表取締役 和田 正 氏
(平成 25 年 4 月)
- ・大西鉄螺 株式会社
代表取締役 大西 啓文 氏
(平成 25 年 6 月)

○中央支部所属

- ・岡總 株式会社
代表取締役 岡田 真季 氏
(平成 25 年 4 月)

◇本社住所移転

○東部支部所属

- ・株式会社 ヤハタ
〒581-0811 八尾市新家町 3-51
(電話等は同様)

◇訃報

○中央支部所属

- ・株式会社 太平鉄螺製作所
前取締役会長 芝本 恒二 様
(平成 25 年 4 月 19 日 ご逝去)

○本田支部所属

- ・株式会社 村井製作所
代表取締役 村井 義和 様の
ご母堂 村井 照子 様
(平成 25 年 5 月 22 日 ご逝去)

○東部支部所属

- ・大西鉄螺 株式会社
取締役会長 大西 進 様
(平成 25 年 6 月 6 日 ご逝去)

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご報告致します。

大阪府 大阪市 商業交流支援事業



大阪商人スピリッツの新たな息吹の場

あきんど café

卸売企業の交流・情報交換の「場」を提供します！

大阪府商工労働部

ある会社の社長さんと従業員との会話で・・・・

社員A： 社長、先ほどB会社のCさんという方から、社長あてに電話がありましたけど、B社って、同じ卸売業者ではありますが、扱っている商品の分野がまったく違いますよね。お知り合いか何かですか？

社長： 「あきんど Café」で知り合った企業さんなんだよ。

社員A： 「あきんど Café」って何ですか？

社長： 大阪府が昨年度から卸売企業の経営者や中堅職員を対象に実施している商業交流支援事業のことだよ。今年度からは**大阪府と大阪市の共催で実施**されているんだ。異業種の経営や改革の話も聞くことができ、自身の会社経営にものすごく役に立ったという話を知り合いから聞いて、今年度の第1回のあきんど Caféに参加してみたんだ。

社員A： どんな内容なのですか？

社長： 昨年度は異業種の講師による講義と交流会の2部構成で実施していたらしいが、今年度は、講師を交えた**座談会形式**で行われ、同じ卸売業でもいろんな業界の経営者や中堅職員の人が参加していて、講師の話や参加企業各々が抱える現状や課題を共有でき、すごく参考になったんだ。その中でも特にB社のCさんの話に非常に興味があつてね。今、**わが社が抱えている課題に対して、何らかのヒントを得られる**のではと思い、座談会のあと**の交流会**で名刺交換させてもらって、その後も何回か連絡を取りあって情報交換しているんだよ。

社員A： 有意義な交流会だったんですね。それなりに費用の負担もかかるのではないんですか？

社長： 参加費は、なんと**無料**で、交流会へ参加する場合は、ドリンクや軽食が提供されるので会費を徴収(千円)しているだけなんだ。A君も中堅職員な訳だし、次回の**あきんど Café**に一緒に参加しないか？

社員A： そうですね。私も常々、**人的ネットワークの構築**や他社からヒントを得ることは大事なことだと思っていましたので、そういう場があるなら参加してみたいです。

社長： これから、10年、20年先まで企業が生き残っていくためには、いかに**情報を収集し、人的ネットワークを構築していく**かということが非常に重要なことだと私も思う。ただ参加するだけでは何も結果は生まれないぞ。参加するからには、課題解決に向けて真剣な意識を持って参加しなさい。

社員A： はい。わかりました。



【「あきんど café」の申し込みはこちら】
<http://www.pref.osaka.jp/shogyoshien/akindocafe.html>

【「あきんど café」に関するお問い合わせ】
 大阪府商工労働部 中小企業支援室
 商業・サービス産業課 商業振興グループ
 TEL：06-6210-9496
 電子メール shogyo@gbox.pref.osaka.lg.jp

大阪府商工労働部中小企業支援室商業・サービス産業課
 主査 黒石 和也

新会長に鈴木建吾氏(愛鉄協)を選出 日本ねじ商連 第38期通常総会開催

日本ねじ商業協同組合連合会（由良豊一会長）は7月21日、静岡県浜松市の“ホテル九重”にて第38期通常総会を開催しました。当日々傘下4組合から107名が参加、平成24年度事業報告、決算報告、25年度事業計画案、収支予算案など含む全9議案を審議、承認したほか任期満了に伴う理事・監事の改選では鈴木建吾氏（愛鉄協）を新会長に選出しました。

総会は藤田守彦氏の司会により進行。去る6月6日逝去された大西進副会長ほか4組合における物故者へ黙祷を捧げたのち、定足数の確認に続き、土方成一副会長による開会の辞、由良会長の挨拶と進められました。

このあと小林三洋氏を議長に選出、▽平成24年度事業報告承認の件、▽同決算報告承認の件、▽同余剰金処分案（監査報告）承認の件、▽平成25年度事業計画案承認の件、▽同収支予算案検討の件、▽同経費の賦課金額及びその徴収方法決定の件、▽役員報酬決定の件について審議、各々承認されました。

任期満了に伴う理事・監事改選の件は指名推薦方式の採用を決定。議長指名による8名の選考委員が別室にて協議した結果、30名の理事候補と2名の監事候補を発表、出席者は

拍手をもって候補メンバーを承認しました。このあと候補者による第1回理事会が別室にて開催され、鈴木会長以下新役員が決定しました。

第40期通常総会開催担当組合決定の件は、大阪鉄螺卸商協同組合に決まりました。

そして鈴木新会長から由良前会長へ、感謝の言葉とともに記念品の贈呈が行われた後、鈴木会長は時代に応じ変化していくことの大切さや、グローバル化にあっても品質重視とそれに携わるべき人材教育の重要性を訴え、皆様とともに考え対応していきたい旨就任挨拶を述べました。

最後に今西浩一副会長が閉会の辞を述べ総会を終了、午後6時半からは同所にて懇親会も行われ、参加者は和気藹々の時間を過ごしました。



鈴木新会長(右)から記念品を贈られる由良前会長

サンコーインダストリーが優勝 第65回野球大会 準優勝はオオヤマ

第65回野球大会・決勝戦は8月18日、兵庫県西宮市の薬業鳴尾浜スポーツセンターのグラウンドで行われ、サンコーインダストリーAチームがオオヤマチームを7-0で下し、2年ぶりの優勝を果たしました。

今大会には31社から23チームが参加、7月28日の2回戦までに“ベスト4”が出揃い、当日は準優勝戦2試合と優勝決定戦1試合が行われました。

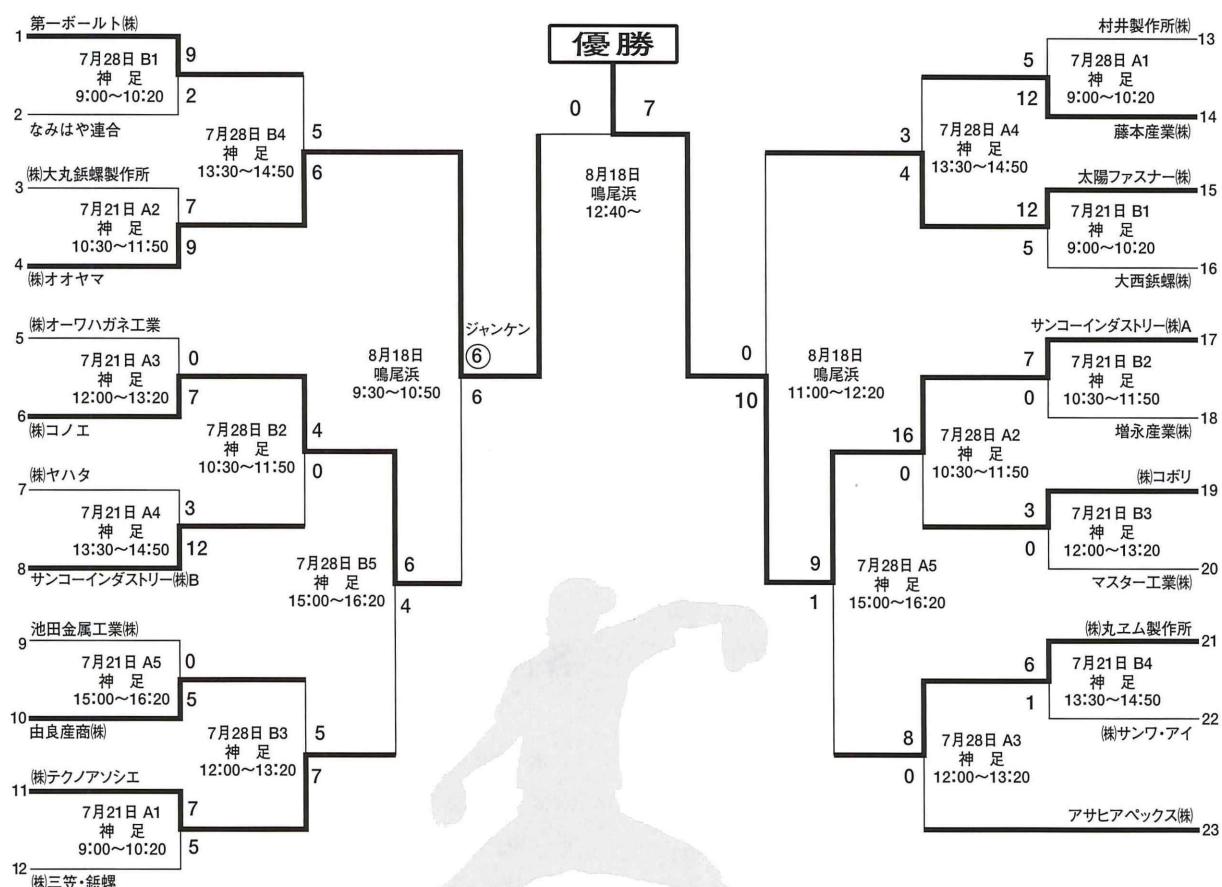
準優勝戦第1試合はオオヤマ対コノエで、3イニングを終え5-5と互角の戦いを繰り

広げ、4イニング目も1点ずつ加点し6-6のまま時間切れ。規定により最終イニングの同一ポジション同士によるジャンケンが行われ、オオヤマが優勝決定戦に駒を進めました。

準優勝戦第2試合はサンコーインダストリーA対太陽ファスナー。一昨年の大会まで7連勝を誇るサンコーインダストリーが計3本のホームランを放つなど太陽ファスナーを終始圧倒、10-0の“横綱相撲”で決勝戦に名乗りをあげました。

この結果、優勝戦はオオヤマ対サンコーイ

大鉄協第65回野球大会



ンダストリーAのカードで12時35分試合開始。1回表裏は両チームとも無得点で互角の展開でしたが、2回裏サンコーインダストリーは下位打線が奮起、エンタイトル二塁打で均衡を破ると、続く3回裏には4番・柳本選手による85mフェンス越えのツーランホームラン、4回裏にもソロホームラン2本と、徐々にオオヤマとの点差を広げました。

他方1・3回表とも三者凡退を余儀なくされていたオオヤマは、4回表無死一・二塁と反撃のチャンスを掴んだが後続打線が“沈黙”、5・6・7回表も攻撃に精彩を欠くなど、地力で勝るサンコーインダストリーが準優勝戦に続き完封勝ちを收めました。

引き続き行われた表彰式では、優勝したサン

コーインダストリーAチームに深紅の大優勝旗ほか大阪府知事杯、大阪市長杯、理事長杯などの記念カップ並びに表彰状や盾が、小林理事長から授与されました。また準優勝のオオヤマチームにも表彰状や副理事長杯などが手渡され、運営に携わった福利厚生委員会や両チームの応援に駆けつけた関係者らの健闘を称える拍手に迎えられました。

なお監督推薦による個人賞では、3回裏にツーランホームランを放ち、試合の流れを決定付けた柳本康茂選手（サンコーインダストリー）が最高殊勲選手賞に、チームの要となる捕手を務め、結果無得点に終わったものの4回表チャンスメーカーとなった木下晋志選手（オオヤマ）が敢闘選手賞に輝きました。



優勝したサンコーインダストリーAチーム



準優勝のオオヤマチーム

委員会だより

敵は熱中症？

福利厚生委員長 本田裕久

残暑お見舞い申しあげます。

平素は福利厚生事業にご協力、ご参加を頂きまして有難うございます。

さて、今年も野球大会が7月21日より始まりました。毎年同様、真夏の太陽の下、はつらつとしたプレーが繰り広げられました。

となると心配なのがやはり熱中症です。選手の方は若い方が多く各チームで対策されているのでいいのですが、審判さんは（ご存知の方はわかると思いますが）年配の方が多く、水分補給、冷えたおしぼりで体温を下げてもう、と委員の皆さんに走り回って頂きました。他もグランド整備や水撒きと本当にご苦労様でした。

お盆の中でしたが8月18日に決勝も終わり、サンコーラインダストリーAチームが優勝旗を奪還し、無事終了しました。皆さん、お疲れ様でした。

なお福利厚生委員会では、この秋もテニス大会（11月10日）、冬のボーリング大会（2月23日）を予定しています。皆様方の多数のご参加お待ちしております。

大山鳴動

広報委員長 中上真一

残暑お見舞い申し上げます。今期より、小林理事長のもと、広報委員長を仰せつかりました中央支部の中上です。若輩であり、経験不足ではありますが、北川副委員長ならびに各委員の皆さんと共に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひ致します。

今回も広報誌「大鈑協」第85号を無事発行できたことは、多くの方々のご協力の賜物と深く感謝しております。これについては皆さんのご協力あってのことですので、今後とも惜しみないご協力を重ねてお願ひ致します。

今後の委員会活動についてですが、広報誌と組合ホームページを、より有効活用できるよう、中身の見直しを図りたいと思っております。とはいへ何かを変えるのは非常に大変で、結局“大山鳴動して鼠一匹”となる可能性が高い気がするのですが、ともかく前向きに頑張って行くしかないと思いますので、広報委員の皆さんには、ご苦労をお掛けするかとは思いますが、お手伝い頂けますよう宜しくお願い致します。

各種研修企画

労務副委員長 梅田真吾

本年度労務委員会副委員長を務めさせて頂いております（株）梅田精密 梅田真吾と申します。（株）コムウエル・フジサワ 藤澤労務委員長に代わりまして当委員会の活動報告をさせて頂きます。

労務委員会は、組合各社の教育訓練の一助となるような研修を企画実施しております。本年度は「工場見学」「図面の見方書き方セミナー」「FE（ファスナーエンジニア）ジュニアセミナー」「FEスタンダードセミナー」を予定しております。

「工場見学」は新入社員向けで、日本鈑螺（株）様の工場見学を行った後、金属産業新聞社徳永社長に講義をして頂きます。「図面の見方書き方セミナー」は、大阪府立東大阪高等技術専門学校にて2日間に渡る図面の勉強です。

これまで一泊二日で行っていたFEセミナーを、昨年度より基礎知識の習得を目指すジュニアセミナー（1日間）と、応用力を養成することを目指すスタンダードセミナー（2日間）の2コースに分けました。これまでの1コースでは、基礎から応用まで非常にボリュームが多かったことや、基礎レベルの受講生にとって、少し難解な講義になってしまっていたといった問題点が上がっておりました。

2コースに分けることにより、レベルのミスマッチを解消し、それぞれの内容をより充実したものにすることが出来ました。

労務委員会の次なる目標は、「F E P R O（プロ）検定」の創設です。大鉄協が認定する「ねじ販売のプロ」の資格制度をどのような形に作り上げていくか、沢山の諸先輩方のご助言を頂戴しながら検討を進めているところであります。

組合員の皆様におかれましては、当委員会の活動にご理解を頂き、各セミナーに奮ってご参加頂けますようお願い申し上げます。

行事報告と予定

経営委員長 三木茂晴

残暑お見舞い申し上げます。小林理事長新体制のもと、経営委員長を仰せつかりました三木です。桂副委員長・経営委員会のメンバーと共に組合員の皆様のためになる活動をしてまいります。皆様、どうかよろしくお願ひ致します。

経営委員会の行事は、6回シリーズの社長塾と年末の講演会を担当させて頂いております。昨年末の講演会は、健康について阪口先生に講演して頂きました。講師の先生を選出する際、最近は組合員の皆様からご紹介頂けるようになり、本当に助かっております。この場をお借りし御礼申し上げます。

2月より始まりました社長塾は、テレビ番組ガイアの夜明け・ルソンの壺・みのもんたの朝ズバッ等々でもおなじみの社長様が2名、美人デザイナー社長様、上場企業の社長様、贈答品関連の社長様、社長塾2回目登場の変化された会社を紹介くださった社長様にお世話になりました。特に2回目登場の社長様には4年で大きく会社の製品群が変化している状況を説明頂き、まさに変化に対応すべきを教えられました。ありがとうございます。

今年度の経営委員会行事予定は、年末の講演会と2月から7月までの計6回シリーズの社長塾を予定しております。今年度も経営委員会をよろしくお願ひいたします。

Nシステムの普及に向けて

EDI委員長 大喜多正己

平素はEDI委員会にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

マスター整備等が一段落した現在、次の大いなテーマは「普及」です。お陰様で、大鉄協の中ではNシステムを標準EDIとご認識頂いていますが、今後は「ねじ業界標準EDI」として広く認知頂けるよう、活動していくねばなりません。

EDIシステムの構築にはそれなりのコストがかかります。EDIを導入したい企業にとっては、自社で独自に構築するよりは、既存のEDIシステムを利用した方がコストは劇的に下がります。裏を返せば、コスト的な問題でEDIの構築に困難を感じていた企業では、ハードルを大きく下げることが出来ます。

一方で、複数の取引先からEDIでの協力の依頼を受ける企業にとっては、取引先毎に異なるEDIでは、EDI先が増えるたびに負担は増大する一方です。それがもし共通のEDIを利用する取引先が増えていったならば、自社システムとの接続によりEDI先が増えれば増えるほど自らのメリットも膨らみます。

ねじユーザー企業からのEDI要請に対してまで「ねじ業界標準EDI」の利用をお願いするというのは、さすがに現実的ではないでしょう。しかし、せめてねじ企業間、すなわちねじメーカーとねじ商社、できれば小売り業者までの間では単一のデータ交換システムを利用することが、業界全体の大きな利益となります。大きな資金力を持つ特定の企業だけでなく、より多くの中小・零細のねじ企業も将来EDIのメリットを享受するには、今から「業界標準」を確立していかなければなりません。そして、今その立場になれるのはNシステムしかありません。

組合員の皆様におかれましては、EDI導入の節にはぜひNシステムのご採用をお願い致しますと同時に、組合外に対しても機会がありましたらNシステムのことをご宣伝いただけましたら幸いです。どうかよろしくお願ひ申し上げます。

総務委員長就任に当たって

総務委員長 久保哲也

残暑お見舞い申し上げます。今年度より総務委員長を仰せつかりました。微力ながら頑張っていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願ひいたします。

去る 7 月 21 日から 22 日にかけて、ねじ商連総会で静岡県の館山寺温泉に行ってまいりました。ホスト役である愛鉛協の担当の方の円滑な総会及び懇親会の進め方に驚くとともに、自分自身であのうにうまくできるのか少し不安を覚えました。

今後の予定としては、12 月 6 日に忘年会、さらに来年の 1 月 9 日には関西ねじとの合同で新年互礼会を予定しています。

若輩者の委員長ではありますが、委員の皆様をはじめ組合員の方々のご協力を賜り、少しでも皆様のお役にたてるような会運営を目指していきたいと思っておりますので、これまで同様多数のご参加いただきますよう宜しくお願ひいたします。

業務委員会報告

業務委員長 垣内龍夫

平素は業務委員会事業にご支援、ご協力を頂き、誠に有難うございます。さて、今年度より委員長として委員会活動のお世話をさせて頂くこととなり、身の引き締まるおもいでございます。2 年間は副委員長で隅田委員長の元、勉強させていただきました。そこで教わったやり方を引き継ぎながら自分なりの方法もプラスしていくべきかと考えておりますので、特に業務委員の皆様にはご指導ご鞭撻賜ります様、よろしくお願ひ致します。

さて、新年度新企画として販売をさせて頂いたクリアフォルダーの件ですが、前期より引き継ぎさせていただき、おかげさまで大盛況で完売することができました。ご協力いただいた組合員各社様には心より、厚く御礼申し上げます。また、組合事務局にはもう残っていないのか、というお声も多数いただいております。ご購入いただけなかった方々には本

・ 当に申し訳なく、お詫び申し上げます。そこで、第 2 弾の販売をするか委員会で検討させて頂きます。

また、従来より組合の財源の一端をなっている、共同購買、保険、カーリース、出版等々と各事業に対しご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。今年も出版事業の中心となるファスナーカレンダー、手帳、ダイアリーを販売させていただいておりますが、毎年販売数量目標を上回って達成していることに感謝申し上げます。今後共、組合の財源確保に少しでも寄与できる様、委員の皆様と知恵をしぼり、組合事務局の方々と力をあわせてまいりますので何卒、よろしくお願ひ致します。

多重規格

JIS 検討プロジェクトリーダー 井上勝裕

力不足ながら J I S 検討プロジェクトリーダーを仰せつかりました。附属書問題に関しては西委員よりその経緯及び詳細を丁寧にご報告いただいております。

ねじの日本工業規格は新規格、旧規格、旧旧規格、附属書が林立しており渾沌とした様相を呈しております。従来ならば、入手しやすいですから、安いですからという理由で主に売れ筋の規格が「基準」となって流通しておりますのが実態です。しかし厄介なことに、企業のコンプライアンスの名の下、そうは行かなくなってしまった。また、世界水準の環境下、日本と日本以外の規格の不統一がトラブルになる場合も目にしております。

この先、業界の常識や既成の慣習が通じ難くなってしまうように思います。設計する人、調達する人、販売する人、現場で組み立てる人、それぞれが共通した認識を有することが必要ではないでしょうか。国内外の製品の乖離も困ったことになりそうです。

とまあ偉そうなことを述べておりますが、規格の問題は面倒なのでどうしても疎になります。手間と費用がかかります。しかし、曖昧なままで避けて通れない問題であります。規格に関する情報を皆様にお伝えできればと考えております。

支部だより

活気ある本田支部活動を目指して

本田支部長 武田 等

今年の夏も暑い日が続きましたが、組合員の皆様は如何お過ごしでしょうか。

今期より谷川前支部長の後を受け、支部長を仰せつかりました。

副支部長に(株)富士鉄工所の山本氏、会計幹事に(株)小川レール商会の小川氏、幹事に松島ネジ(株)の松島氏、(有)川西製作所の川西氏、(株)野島製作所の野島氏の6名で支部運営を行って参ります。宜しくお願ひ致します。

本田支部は、現在16社。全員参加を目標に各種の企画を行っています。最近は若い支部員の方も多くなり、企画にも若々しさが溢れています。心強く思います。本田支部は、楽しく、仲の良い、結束力のある支部だと思うので、先輩たちが築いてきたこの伝統を崩す事無く、引き継いでまいりたいと思っています。

今期の予定は9月13日に納涼会を予定しております。今回、全員参加とは行きませんでしたが、沢山の皆様に出席していただけようで楽しみにしています。今後は、国内旅行、忘年会、総会、などを予定しています。

不慣れな大役ですが、活気ある本田支部活動を目指して頑張りますので、支部員皆様のご協力の程、宜しくお願ひ申しあげます。

支部の行事

西部支部長 原田 棟弘

平素は、西部支部活動に、ご協力を頂き誠に有難うございます。

今年も7・8月は猛暑日が続き、節電の影響か熱中症になった方が多数出ています。組合員の皆様、いかがお過ごしになられましたか。機関紙が発行される9月20日頃にはかなり暑さも和らいでいることと思われます。

今年からの支部委員は、副支部長=(株)三木製作所 三木茂晴氏、会計幹事=(有)有本螺旋製作所 有本幸介氏、幹事=大弘鉄螺(株) 森口聰氏、幹事=大和鉄螺工業(株) 辻宏二氏、幹事=アジアプランニング(株) 近藤淳氏、以

上6名で支部運営を行って参ります。皆様のご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

今年の支部旅行は、7月5~6日の日程でモノづくりのまち新潟(燕市・三条市)でした。燕三条は、日本製のフォーク・ナイフの95%以上を生産するなど、金属洋食器の製造で知られています。

1日目は、「[新潟市内] 花街の面影を残す古町巡り・豪農の館「北方文化博物館」見学、月岡温泉 白玉の湯 華鳳(かほう)泊。

2日目、三条鍛冶道場にて和釘作り体験。和釘とは日本古来の建築物に使う釘のこと。三条市は、20年に一度(今年)の「伊勢神宮式年遷宮(新築)」の際に、なんと19万本もの和釘を納めたとのことです。

昔からの製法を守って製作するため、全て四角の材料から、火作り、手作業で一本ずつ叩いて製作を行なっています。60年に一度(今年)の出雲大社宮式年遷宮にも和釘を納めたとのことです。その他にも神社仏閣の修復など、全国各地で使われる和釘の生産を行なっています。

諫訪田製作所(プロが使う爪切りを製造)では、全工程を全て見られるようにガラス張りの工場を見学。何人か爪切りを買いました。その後、一路飛行機で帰阪。

楽しい2日間を過ごし、明日への活力となりました。今後も、旅行幹事さん、珍企画を楽しみにしています。

九条支部 新体制

九条支部長 馬渕 健司

今年度より、支部長という大役を仰せつかりました馬渕でございます。若輩の身ではございますが、何卒宜しくお願ひ申し上げます。

副支部長には前支部長の(有)久保製作所の久保氏、(有)平野製作所の平野氏、会計幹事に(株)谷川精螺の佐藤氏、幹事には(株)大和製作所の梶山氏、(株)山田製作所の山田氏、エヌエスマタル(株)の吉岡氏、(株)梅田精密の梅田氏という非常に心強い皆様と一緒に支部運営を行って

参ります。

今後の活動予定ですが、秋にゴルフコンペ(本田支部と合同)、一泊二日の旅行などを計画しております。できるだけ多くの皆様にご参加頂き、情報交換、懇親の機会となればと考えております。

九条支部の良き伝統であるアットホームな雰囲気の中での世代を超えた強いつながりを継承・維持しながら、元気で活気ある支部運営をしていきたいと思っております。

ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

支部の皆様よろしく

東部支部長 鈴木 啓次

大鉄協組合員の皆様、残暑お見舞い申し上げます。

昨今、毎年の事ですが猛暑による熱中症、ゲリラ豪雨などで被害を受けたりお亡くなりになったりというニュースが聞こえてきますが、組合員の皆様いかがお過ごしでしょうか。

本年度、支部長の大役を仰せつかり一期二年私らしさを出せる体制を作るべく、支部役員として副支部長株ヤハタ・和田正氏、幹事(株)ホズミ・穂積道和氏、(株)垣内螺子商会・垣内龍夫氏、(株)ホンダ鉄螺製作所・本田裕久氏、(株)オオヤマ・大山寛之氏にお願いし、支部運営を行って参ります。

悲しく辛い事ですが、支部長としての最初の仕事が6月6日にお亡くなりになられた故大西進様の葬儀告別式のお手伝いでした。

大西様には支部のご意見番として色々相談にのっていただきうと思っていた矢先の事、ご冥福お祈り申し上げます。

さて、5月10日に支部幹事会を行い、2年間の運営方針、事業計画担当幹事を決めました。

2013年 支部総会と納涼会 6月28日



OS会が創立50周年式典を開催

大鉄協OBら135名で慶事祝う

OS会(由良泰雅代表幹事)が4月26日、大阪市北区の“リーガロイヤルホテル”にて創立50周年記念式典を開催。当日は来賓とし

て大鉄協から先輩メンバー、各二世会の代表者ならびに現役・OB会員とその御令室ら計

135名が出席、半世紀に及ぶ節目の慶事を

支部旅行 香川県直島 11月15日・16日

2014年 支部新年会 1月末か2月初旬

(シェラトン都ホテル大阪)

勉強会と納涼会 7月か8月

支部旅行 (国内又は海外2泊3日予定)

2015年 支部新年会 (シェラトン都ホテル大阪)

支部総会 3月末か4月初旬

その他、支部ゴルフコンペ年2回(春・秋)

この様に盛りだくさんの行事を予定しています。支部の皆様ぜひご参加とご協力を宜しくお願い致します。

猛暑の夏でした

中央支部長 小西 弘美

8月に入ってからの猛暑は、気温が40度を越えた地域が出たかと思えば、局地的ゲリラ豪雨、渇水等、何処かで異常が起きております。この9月には全ての原子力発電が止まり、この夏をどの様に乗り切るかが懸念される9月ですが、支部の皆様方はいかがお過ごしでしょうか。

支部に於いては、4月2日京セラ大阪ドームで野球観戦、4月19日アークホテルにて支部総会を行いました。

以降、支部の行事としては9月か10月頃に暑気払いを兼ねた食事会の予定をしていますので、その際は全社様が参加頂ける様宜しくお願い申しあげます。

まだまだ暑い日が続きますが、支部の皆様方におかれましては健康に留意して頂き、この暑い・暑い夏を乗り切りましょう。

尚、次回皆様方とお会いしたときには情報の交換、研修旅行の計画等の話し合いをしたいと考えていますので宜しくお願ひすると共に、皆様方とお会い出来る事を楽しみしています。

盛大に祝いました。

式典で由良代表幹事は、来賓をはじめ多数の関係者に対する参会御礼の言葉とともに、「OS会の文化の再生」を念頭に、今年の活動テーマである『REGENERATION（再生・復興）』に向けOB・現役会員の相互交流の重要性を訴え、人脈や先人の知恵を紡いでいくことでさらなる会の発展を目指したい旨挨拶しました。

そして活動予定報告を挟み、大鉢協理事長の大西進氏、泰鉢会代表幹事の平戸真澄氏、昌栄青和会代表幹事・今西武史氏、K-2代

表幹事・伊藤竜介氏が、それぞれOS会との思い出、交流を交え祝辞を述べました。

このあとOBで結成する各会代表からの祝電披露を挟み、金田哲治幹事による閉会挨拶で第1部の記念式典を締め括りました。

引き続きおこなわれた第2部の現役・OB合同懇親会は、OS会発起人のひとりでもある大喜多克己氏による乾杯の音頭で開宴。初代幹事を務めたOBの八幡進氏（株ヤハタ）、ならびに大喜多克己氏（大喜多株）へ、由良代表幹事から花束贈呈も行われました。



式典参加者による記念撮影

OS会の頁

継続すること

（株）カーマン
金田 哲 治

OS会50周年記念式典が皆様のご協力のもと4月に無事終えることができ、もうすぐ私の幹事としての仕事も終わろうしております。今回は記念式典について書こうかとも思いましたが、止めました。理由は後程。今はお盆休み中の出来事を少しだけ…。

わたしの地元・高槻市の人間でもう20年近く、高校在学の頃からお笑い芸人をしているものがいます。芸人といつても、売れる人はごく一握り。ほとんどの人が売れずにやめて

いき、別の人生を…というのが当たり前の世界のようです。

もちろん、と言っては叱られます。私の友人も後者の方に当てはまります。大阪から上京して15年、今年中にはコンビを解散して地元に戻ってくるようです。結構有名な事務所に所属していて、もうすぐ売れるで！と何度も聞いたことか…。

本人はこの夏休みに帰省した際、何事も無かったかのように酒の席で報告していましたが、本心は計り知れない無念の気持ちでいっぱいだった事と思います。私としても、高校の頃から応援してきたので、せめて一花咲か

せて欲しかったです。

これからどうするのか、生活設計は問題ないのかなど色々聞きたいことはあったのですが、なんだかんだとはぐらかされて深い話もしないまま東京に帰っていってしまいました。

苦節20年。これが彼にとって適當な言葉かはわからないのですが、それなりに苦労はしてきたのだと思います。ただ、逆を言えば37歳まで好きなことを追いかけられたのだと、少しうらやましい気持ちにもなります。

とはいえる結果が全て。華やかな世界も結果が伴わないものには厳しいなあと改めて思いました。

もちろん、芸人の世界に限らず、甘い業界などというものはほとんど皆無に等しいですね。決して華やかではありませんが、ねじの業界もしかり。地道に積み重ね継続する事こそ最も重要であり、最も困難な事なのでしょう。ねじ屋にはそれができる人がとてもたくさんいるように思います。OS会の50周年もそういった先輩方の地道な努力があったからこそ盛大な式典が開催できたのだと、今更ながらに感慨深く思います。

ただし、この式典の事を私が語るには少々荷が重すぎます。このページにはもう登場して頂く事はできませんが、由良代表、次の機会にどこかのページで50周年記念式典について熱く！語って下さい。ほかの現幹事ともども楽しみにしております。

サイエンスショー

増谷ボルト(株)
増 谷 圭 祐

先日、市立科学館の横を通った際、子供が幼稚園でプラネタリウムを見に行った事を話してくれました。大変面白かったので、もう一度今から行きたいとダダをこね始めましたので、結局その日のうちに用事を済ませ、昼過ぎから家族で行くことになりましたが、あいにく夕方近い事もありプラネタリウムはもう満席でした。幼稚園の年長さんの上の子と2歳の下の子にはまだ早いと思いつつ、折角來たので館内を見学することにしました。

館内に入ると宇宙や星の成り立ち、てこや滑車などの力の作用などが分かりやすく体験しながら学べるようになっていました。私の子供達はもちろんそういうものはわかるはず

もなく、適当に遊んでおりましたら、白衣を着た学芸員のような方が、もうすぐブーメランのサイエンスショーをしますと案内していました。ブーメランに反応した子供と、そのショーを見に行くことになりました。

3cm×30cmの厚紙を十字に止め四方の端をかまぼこ状に丸みをつけただけの簡単なブーメランが、クルクルと回りながら会場を一周して学芸員の手に戻ってくると、喜ぶ子供達を前にその白衣の人は、今からブーメランがなぜ元に戻ってくるかの原理をわかりやすく実験で証明していました。

結論からいいますと、揚力と回転による原理は大人でも結構難しく、聞き終わってもなるほどにはいたりませんでした。子供にいたっては早くあのブーメラン作ってと原理なんてものはそっちのけです。しかしそのサイエンスショーで私は結構な衝撃を受けました。

揚力の説明において、難しく言うとベルヌーイの定理らしいですが子供にわかりやすい説明によると、丸みを帯びた物体は風に引き寄せられる性質があるというものです。

実験では机の上に送風機を置き下から真上に風を送りつけます。その上に丸い風船を置くと、風船はどうなるか？そのまま上に飛ばされるか、手を離したところで宙に浮き続けるのか、結果は後者、宙に浮き続けます。なるほど風船に惑わされますが、丸いピンポン玉とかなら確かに合点がいきます。

しかしこれからが実験の真骨頂。まず風の中心から少しずらして、手を離した場合、これも真ん中にすっと戻り風船は宙に浮きます。続いては送風機の風向きを斜め45度にした場合、頭では理解したつもりでも、そこにはまさかの現象が、斜め45度で風船は宙に浮いたまま送風機の風に掴まえられています。風船を少し大きくしたビーチボールでも実験は行われました、強風となった送風機に見事、ビーチボールは捕らえられました。

この実験は、大人の方が驚きを受け易いそうです。私もそうでしたが、風は物を飛ばすイメージがあって、掴まえるイメージを持っていないからだそうです。ブーメランの原理にどうつながるのかよくわかりませんが、子供には簡単なブーメランをつくってあげる事ができ、大人の私はちょっと変わった話のネタを仕入れた、最近流行りのドラマのように「実に面白い」サイエンスショーでした。

隨想投稿欄

子供の成長

太陽ファスナー(株)
宮本和彦

昨年の1月28日に第一子長男が誕生し現在1歳と6ヶ月になります。誕生した時は3455gと大きく、現在は14kgまで体重が増え、2歳半から3歳児並みの大きな子に成長していくおり、抱っこをしながら買い物をするのも苦労な状況ですが、今まで大病をした事も無く、健康ですくすくと成長している姿を見ていると大変うれしくおもっており、また現在も妻と共に子育て奮闘中であります。

平日は妻が1日の大半子供と接しており、私が帰宅する頃には子供は既に就寝しているので週末位しか触れ合う事が出来ませんが、子供の成長の速さを見ていると人間って神秘的な生き物だなと実感しております。

私は現在38歳で、実感はまだありませんが、これからどんどん月日が経つ毎に今まで「出来た」事が「出来なく」なってきます。対照的に1歳半の我が子はこれから「出来なかつた」事がどんどん「出来る」事に変わっていき、そのスピードは私達が考えるよりはるかに速く昨日より今日・今日より明日と成長していきます。

例えて言うと、積み木遊びで昨日は2段しか積めなかつたのが今日は4段・明日は6段と積めるようになったのと同じです。以前携帯電話で電車の動画を見せていましたが、今まではまだ話す事が出来ないので、私の携帯を握りしめて私に電源を入れて見せて欲しいと身振りで伝えてきましたが、私の動作を観察して次の日には携帯の電源を自分で入れて持って来て、私の膝にちょこんと座り動画を見せて欲しいと身振り・手振りで伝えてくるのを見ていると、親バカかもしれませんがあ々驚く事の連続です。

一方、楽しい事だけではなく何をするにしてもぐずって泣きっぱなしの日もあったり、自分のしたい事が私達に伝わらず絶叫してみ

たり、大変な事もありますが、現在経験している子育てと同じように私を育ててくれた両親には苦労ばかりかけたなと今更ながら感謝しております。

現在妻は妊娠3ヶ月で来年の3月にはもう一人家族が増えます。次の子も長男と同様に健康ですくすくと育ってくれる事を祈ると共に、また長男とは違った子育てが出来る事を心待ちしております。

波を求めて一千里

藤本産業(株)
中島豊之

30歳を過ぎた頃からサーフィンを始めました。最初の一年は波に巻かれに行っていましたと言っても過言で無い程初心者に厳しいスポーツです。何故なら相手が自然であること、そしてルールです。ワンマン・ワンウェーブと言って一本の波の進行方向に対して一人しか乗ってはいけない鉄の錠があり、当然上手い人が先に乗るので初心者の出番など簡単には回ってきません。ようやく波を捉えても、波の変化を予測しきれずにコケてしまったり、乗り損ねたりの連続です。そもそも容赦なく押し寄せる波を乗り越えて沖に出るだけで一苦労です。

それでも続けていれば何とかなるものです。波に乗れるようになると楽しくなりません。波越しに見る朝日、夕日に照らされて真っ赤に染まった波を見ていると大自然との一体感が、仕事の疲れを全て癒してくれます。

サーフィンに適した波(うねり)は海の上を吹く風によって発生した凸凹が大海原を旅することで徐々に重なり合い、大きくなつて沿岸部の一定の水深に達した時にブレイクします。ハワイのノースショアにブレイクするビルの様な大波も、元は冬の日本を襲う寒波、日本沿岸を北上する低気圧に吹き込む北西風なのです。気圧配置でうねりの向きや風向き

は変わりますし、うねりを受ける場所の地形、干満潮などの条件が揃った時、ようやく成立するスポーツなのです。

壮大な旅をしてくる波が何処に到達するのか予想する為に先週も、今週も、来週も天気図と睨めっこです。東は千葉、北は石川、西は高知の果てまで波を求めて一年中走り回っていると毎月の移動距離は一千里（約4000km）程になります。交通費だけでも家計に大打撃ですが、「波乗りは来週の仕事のモチベーション」と奥方には言い訳して地産の食材を上納しています。

波はどれも同じように見えるかもしませんが、大きくなる過程で微妙に違うものです。今、目の前でブレイクしている波は一生に一度しか見ることができないのです。そんな波との出会いを楽しみに、奥方への言い訳を実行しなくては…。

さて、今日もがんばってネジ売りますか!!



登山

(株)ヤハタ
荒木智大

「三つ子の魂百まで」という言葉があります。人間というのは面白いもので、幼い頃の性格や習慣は年をとっても変わらないようです。

私は京都の福知山という自然豊かな町で生まれました。市街地は周囲を山で囲まれており、その一角には百人一首で詠まれた大江山も名を連ねます。

このような環境の中、子供の頃から自然と触れ合う機会に恵まれ、特に山登りなどには家族や友人とたびたび出掛けておりました。

中学校以降はクラブ活動等もあってしばら

くは山から離れた日々。しかし、社会人になり大阪へ出てきて、都会で暮らすうちに自然が恋しくなったようで、昨年から登山を始めました。

始めたとはいっても特に山岳会等には所属せず、面白そうな山を見つけては友人と登るアマチュア登山です。久々の登山だったので体力面に少し不安があったのですが、登り始めると昔の記憶が残っており、自分でも驚いたことにスイスイと身体が動いてくれました。

それからは色々な山に登りました。須磨アルプス、金剛山、御在所岳等々。それぞれの山に違った良さがあり、心を満足させてくれていたのですが、登るうちに次第に高い山への興味が湧いていきました。

そして今年の8月に標高3776m、日本一の高さを誇る富士山へ登ることに。6月に世界遺産に登録されて話題になったこともあり、登山道は人でごった返していました。

道中は大変でした。5合目から登り始めたのですが、初めは強い直射日光にじわじわと体力を奪われ、途中からは霧で先の見えない道のりに気力を奪われ、7合目の岩場以降は突然の雨と強風で身体の熱を奪われるという散々な状態。一日で夏と冬を味わいました。

それでも友人と励まし合って何とか8合目の山小屋へ辿り着き、仮眠をはさんで深夜から山頂へ向けて再出発。まだ先は長かったですが、空を見上げると満天の星空が。空気はとても澄んでいて、時おり見える流れ星が背中を後押ししてくれているようでした。

そして頂上で迎えたご来光。体感温度が氷点下の中、朝焼けの空から姿を現した太陽はかつてないほど荘厳で温かく、忘れられない体験となりました。

今回の富士登山で改めて感じたことがあります。それは、「踏みしめる歩みは決して己を裏切らない」ということ。

仕事か趣味かを問わず、人生において達成しようとする目標が大きければ大きいほど、その道のりは長く険しくなるもの。けれども目指すべき頂を自ら見定め、日々一步ずつ前へ進んでいけば、その道は必ずや望む未来へと続いている。

これからも私は山を登ります。自然を感じ、一步ずつ歩みを進めるために。

チェンマイ ゴルフフェスティバル 阪神ネジ(株) 山 里 誠志郎

今年の5月6日から7日間タイのチェンマイを訪問した。ここへは3回目となる。

7日間の一人旅の面倒を見てくれたのは、6年前に知り合ったガイドのトムサック・トンルート通称Mチャンだ。5月7日から二泊三日でタイ北部の町チェンライ・国境を越えミャンマーへ案内してくれた。ガイド代は彼の車+ガソリン代+ガイド料で1日1500バーツ（1バーツ=3円）と格安。軍事政権下でのミャンマーでのゴルフ、また黄金の三角地帯から見るラオスなど、ツアーでは味わえない旅ができた。

チェンマイに戻り、もう一つの目的である「将来ロングステイ先としてここが適しているか、また中古ゴルフクラブの商売が出来るか」を調べる仕事が残っている。最終日Mチャンと町を散策、両方ともすぐに結論がでた。日本が寒い12月から2月にかけて避寒地として利用するのは最高である。滞在先は朝食付きのホテルが長期なら安く、自分には向いている。ゴルフクラブの商売は出遅れで無理だ。資金は別の投資を考えることにする。

結論が出てすっきりしていると、Mチャンの友人から幸運にもゴルフフェスティバルのお誘いがあり、即OKする。Mチャンの友人はゴルフ場のグリーンキーパー（コース管理責任者）で、彼のコースはマイジョーGCと云い、ハイシーズンはプレー料金が非常に高い高級コース。5月（乾季で非常に暑い、因みにタイの小学校は夏休み期間）のローシーズンに旧ランナー王国「ゴルフフェスティバル」として、地元のタイ人が安く参加できるようにしている。

我々のスタートは12時30分のショットガン方式（参加者が18ホールに散らばり一斉にスタートする方式）、アウト4番の2組目と決まった。参加費は一人1500バーツ。カートを借り、アウト4番に向かう。僕のキャディーさんは、日頃はフロントで会計係をしている女性、ゴルフ場社員全員参加なのだ。Mチャンの友人二人と大会看板の前で記念撮影、全員タイ語だがすぐに親しくなった。

タイ語をずっと聞く日々が続き、何となく意味が判るので。プレー中グリーンキーパーさんはビール無しではゴルフが出来ない人、私にビールを差し出すので4本飲んでしまった。お陰で？40・42で絶好調。プレー終了からが大変、参加者全員が一斉にクラブハウスに戻ってくるので、シャワールームは大騒ぎだ。

やっとのことでシャワーを使い、表彰式へ。テーブルは全員タイ人だが、まったく違和感なし。私を日本人正在していなか、タイ語で話し掛け、ビールをがんがん注いでくれる。優勝スコアは30・36=66とプロ並みのスコアだった。

女性司会者が飛賞の発表をしているが、全く聞き取れない。タイ人の名前はやたら長いのだ。Mチャンに私の成績は？と聞くと廊下に成績表が貼ってあるらしい。見に行くとどこを捜しても私の名前がない。実はMチャンYAMAZATOではなくYAMAGATTとエントリーしていたのだ。謝っているMチャンを怒ってもしょうがない。賞には入ってなかったし。こんな時タイでは「マイペンライ」（気にしない気にしない）という。

あすは帰国の途につく、楽しい最終日になった。ホテルに戻り「マイペンライ」と呟き眠りについた。



私も歴女？

(株)カンタス
田 原 葉 月

最近、歴史が好きな女性の事を指す歴女という言葉があります。私も歴史が好きな一人です。

今いるネジ業界とは全く違う考古学を大学では専攻していました。歴史を勉強する中で伝統文化、習慣を学ぶ民俗学、史料を使い歴史を考える古文書学等、史学と言っても分野は様々です。この中で遺物や遺跡、時には寺社仏閣、実際に歴史に触れる事が出来る考古学に魅力を感じ考古学の世界に入りました。

古墳の測量・発掘調査、遺物の洗浄・復元・実測。全てに過去の文化等を感じる事ができました。寺社仏閣でも古代人の技術の高さが

現れています。

例えば寺院にある五重塔。高層建築である五重塔ですが地震で崩れたりしません。屋根が互い違い揺れる構造になっており、揺れを相殺する様になっています。諸説ありますが、五重塔の芯になる心柱に工夫があり、上から垂れ下がっている物もあれば、心柱がないものも存在し地震に負けない作りになっているそうです。ちなみに塔はお釈迦様のお墓で、柱の下には舍利というお釈迦様の骨が埋納されています。骨と言っても骨を模したガラス玉や勾玉ですが。

どうでしょう？日本の歴史に少しでも興味を持って頂ければ幸いです。日本には史跡、名勝がたくさんあります。足を運んだら新しい発見があるかもしれません。

卸売展示商談会開催 大鉄協から10社が出品

“魅せよう、大阪卸売企業の底力!!”をテーマに、府下卸売企業による展示商談会『大阪発!! 卸売企業異業種ビジネスマッチング』が2月19日、大阪市中央区のOMMビルにて開催され、沢山の来場者の参観で賑わいました。

大阪市主催、複数の関係団体の協力・協賛・後援などにより実現した同展は、取扱商品の充実、異業種商品の新規取扱などにより卸売企業が持つ強みを伸ばすとともに、売上・販路拡大を目的に開かれ、管工機材や機械器具、鉄螺、電子部品、金属部品、工業用ゴムなど生産財を取り扱う卸売企業50社が参加しました。

大鉄協からは、池田金属工業(株)、大喜多(株)、弘陽工業(株)、(株)コノエ、小林産業(株)、(株)コムウェル・フジサワ、(株)サンワ・アイ、阪神ネジ(株)、(株)丸エム製作所、(株)三木製作所（以上50音順）が出品、それぞれ特徴ある各種ねじ製品をアピールしました。



展示商談会の会場

コノエAチームが優勝

福利厚生委員会 第39回ボウリング大会

恒例の第39回ファミリーボウリング大会が2月24日、大阪市港区の“弁天町グランドボウル”にて開催され、参加36チームの中でコノエAチームが1620点の好成績で優勝しました。

同大会は福利厚生委員会（馬渕健司委員長）の企画・運営により行われ、毎年多数の組合

員及びその家族がボウリングに興じてきました。当日は18社と同委員会から計36チーム・108名が参加、勝亦良彰副理事長が見事なストライクで始球式を行い競技開始。

1チーム3名編成で3ゲームによる計9ゲームトータルの競技終了後、表彰式が行われ、

優勝したコノエAチーム（岡田恵美子、古津大介、古津由香の各氏）を始め、優秀な成績を残したチームや個人に各々トロフィーや記念品が手渡されました。

主な結果は次の通り(敬称略)。

▽団体(得点は9Gトータル、ハンデを含む)

優勝=コノエ1620点、

準優勝=第一ボールト1606点、

③野島製作所1565点。

▽個人(3Gトータル、同・男子)

優勝=今井喜久三(鈴木製作所) 621点、

準優勝=海中一泰(野島製作所) 611点、

③廣畠元哉(第一ボールト) 589点。

同ハイゲーム 今井喜久三(鈴木製作所) 237点。

▽個人(同・女子)

優勝=岡田恵美子(コノエ) 580点、

準優勝=海中美幸(野島製作所) 517点、

③西尾絵理(大丸鈑螺製作所) 515点。

同ハイゲーム 岡田恵美子(コノエ) 188点。



優勝したコノエチーム(中央)はじめ上位入賞チーム

山田一仁氏(有希ファスナー)が優勝 第10回 大鈑協親睦ゴルフコンペ

第10回親睦ゴルフコンペが4月27日、奈良県天理市の春日台カントリークラブで行われ、山田一仁氏(株)有希ファスナー社長)がNET 72.2の好成績で優勝を飾りました。

大鈑協では春・秋の年2回、同好の士で懇親コンペを開催しています。当日は4組13名がエントリー、午前8時半、中コースからスタートした競技は、午後からの西コースを含め新ペリア方式で争われました。

上位の成績は次の通り(敬称略、数字は中、西、グロス、ハンディキャップ、NETの順)

◇優勝 山田一仁(株)有希ファスナー)

43、40、83、10.8、72.2

◇準優勝 白井良一(株)オーワハガネ工業)

44、46、90、16.8、73.2

◇3位 原田棟弘(太洋ねぢ(株))

53、51、104、30.0、74.0

次回第11回親睦ゴルフコンペは、きたる9月28日(土)、同じ奈良県天理市の春日台カントリークラブにて行います。

問い合わせはニット一金属工業(株)
(TEL 06-6761-7351)まで。



大西進前理事長が逝去 葬儀告別式に400名が参列

本年5月の総会まで理事長を務められた大西進氏(大西鈑螺(株)取締役会長)が、かねて入院加療中のところ薬石効なく6月6日午前4時逝去されました。享年67歳。

同社と大西家合同による通夜は7日午後7時から、葬儀告別式は8日午前10時から、いずれも大阪府枚方市の公益社枚方会館にてしめやかに執り行われました。喪主は長男の大西啓文氏(大西鈑螺(株)社長)、葬儀委員長は

細山田秀明氏(大阪鈑螺卸商協同組合相談役・理事、(株)大丸鈑螺製作所社長)。

葬儀告別式には所属する東部支部を始め、関西ねじ協同組合や取引先関係者、故人の友人・知人ら400名が参列。故人と親交のあった高橋芳信氏(株)三笠・鈑螺社長)や藤本享司氏(藤本産業(株)社長)が数々の思い出を振り返り弔辞を述べるなか、出席者はその遺徳を偲びました。

六角ボルト・ナットの附属書～「附属書I」から「附属書JA」へ JIS改正案と今後の対応と供給責任

JIS検討PJ委員 西 幸男



本附属書問題は、2009年末廃止から市場の混乱を防ぐため、2014年末に廃止と時期が変更されました。日本ねじ研究協会の原案作成委員会は5年の猶予期間内に本体規格に整理して取り込む等、調査・研究・検討・審議を重ねてこられました。大変なご苦労があったと思います。当組合もJIS規格改正の進捗は、生産地に存在する商社としての供給責任を果たすための重要な問題でありました。JIS検討PJ委員として隨時情報の収集とご報告をさせて頂きました。

この度着地点を見出され「附属書JA」での最終答申に至り、文書が日本ねじ工業会、日本ねじ商連の連名により配布されました。

その適用範囲に、「この附属書は、将来廃止するので、新規設計の機器、部位などには使用しないほうがよい」との記述があります。グローバルな製品展開のためには、国際規格のねじ部品へ移行するよう設計者・使用者、業界全体が取り組むことが必要であるという本意が潜んでいます。

今回の改正のポイントは、現在多くの産業分野で圧倒的に使用されている附属書製品は、1974年に規格制定され、1985年に附属書に移行となり現在に至っています。約40年間に技術的・機能上からも問題視されず生産

・流通・使用の実績があり、また建築分野から建築基準法の規制面から既存の改築・改造が事実上出来なくなる（既存不適格問題）、混乱が予測されることなどの意見を取り込む必要があったようです。ISO規格体系とは異なるJIS独自の製品規格体系の部分があることに端を発していると考えられます。この規格以外にも多くの製品が共通して持っている問題だと思います。

今後は、「本体規格」と「附属書JA」の二つの規格製品が併存することになります。識別方法（刻印）や呼称などの検討が必要とされています。流通業者として供給責任を果たすためには、まずは二つの規格内容を理解し、設計者・使用者の要求がどの規格品なのかを確認することが必要となります。また、「附属書は将来廃止される」と記述されていることから、グローバルな産業製品生産者には、現状の規格改正を十分に説明し、将来を見据え本体規格への移行提案を勧める活動も必要ではないでしょうか。

今回のJIS改正にあたり、二つの規格製品が混在する市場での混乱を避ける為には、社内教育の徹底、製品の識別管理は勿論、ユーザーへの周知活動を実践して「ねじのプロ」として供給責任を果たし、併せて業界のレベル向上を図るためにも絶好の機会であると思います。情報を交換し真剣に取り組んでいきましょう。

初のレベルアップセミナー、20社・39名が受講

労務委員会 第26回 FE STセミナーひらく

労務委員会（武田等委員長）主催の第26回FE（ファスナーエンジニア）スタンダードセミナーが3月15～16日の2日間、兵庫県芦屋市の大阪ガス奥池ロッジで開催され、20社から39名の社員が受講しました。

今回は昨年11月のFEジュニアセミナーでの受講内容を踏まえ、そのレベルアップセミナーとして企画されたもの。母体となる同セミナーは、22年前から中堅実務社員の資質向上と業務に役立つ実践的教育を狙いに実施さ

れどおり、講師は工学博士でねじ製造分野に造詣の深い北井敬人氏（ケーエム精工（株）社長）が平成 19 年から務められています。

初日の開講式は藤澤義弘・労務副委員長の司会で進行。武田委員長による開講挨拶、担当副理事長の勝亦良彰氏による励ましの言葉に続き、司会による講師や委員の紹介、資料確認などの説明が行われ、出席者全員による記念撮影を挟み研修に入りました。

北井氏は開講に際し「講師を務めるようになり 7 年目となる。2 日間だけでなく、終わってからも皆さんの記憶に残るよう、項目ごとに講習と演習問題の繰り返しで知識習得を図っていきたい」旨挨拶し、用意したテキストやパワーポイント画面を映し出した OHP などを交えながら講義を進めました。

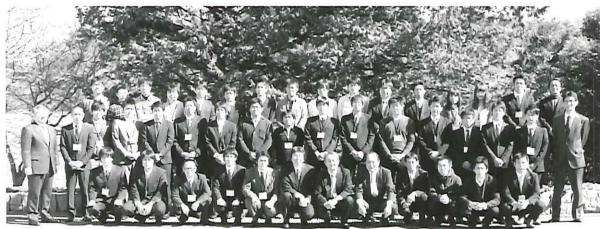
講義内容は、前記ジュニアセミナーとの重複を避け「入門」や「製造」の項を削除、理論を重点に解説され、演習で深い理解が得られるよう、テキストも全体の約 1/4 が要旨下記のとおり変更されています。

△ねじの規格、材料強度、熱処理、表面処理、品質管理の 5 項目に。△台形ねじなど三角ねじ以外のねじ山の形式を追加。△JIS ハンドブックねじの読み方を追加。△200 系

ステンレス、ステンレス鋼 0.2 % 耐力の解説を追加。△ねじの機械的性質の説明と演習問題を追加。△寸法効果と焼入れ性保証鋼 SCM 435 HRCH の説明を追加。△熱処理したねじを溶融亜鉛めっきする場合の問題点の説明を追加。△電蝕（異種金属間腐食）の説明を追加。△ステンレス製ボルトナットの焼き付きの説明を追加。△ねじ締付け管理方法（トルク法と回転角法）の説明を追加。



講義の模様(立姿は講師の北井氏)



セミナー参加者・関係者による記念撮影

増谷副理事長がパネラーに 異業種トークセッションでアピール

増谷彰彦氏（大鈿協副理事長、増谷ボルト（株）社長）は、2 月 21 日に開催された異業種交流トークセッション『あきんど Café』にパネラーとして出席、自社の現況や経営課題などとともに、ねじ業界のアピールに努めました。

この催しは大阪府主催により平成 24 年度の商業交流支援事業として行われている講演会形式の交流・情報交換の「場」。昨年 5 月から月 1 回、テーマや講師を変え 10~30 人程度の少人数で、ゲストスピーカーによる講演＆トークセッションの後、交流会も実施されています。

増谷氏は 87 名の参加者を前に、「締結」や「鈿螺」についての概念、ねじの歴史などについて紹介するとともに、ステンレスに特化し豊富な在庫アイテムを揃えた業態により、過去赤字なしで代々経営してきたこと、今後

はチタンなど一層の高付加価値化で乗り切る方針などを披露しました。

また品質重視の姿勢から検査機器類の充実を図るとともに、その手順などを含めマニュアル化・組織的な取り組みの重要性を指摘。多品種・多サイズにわたる製品特性だけに、自らを含めプロ集団によるタイムリーな調達・提供が欠かせないと力説しました。



パネラーを務める増谷副理事長

シリーズ 私の宝物 「山登り」

三喜鉄螺(株)

勝亦謙介

私は学生時代音楽が趣味の友人達とライブハウスやフェスに行く事が大好きでしたが、社会人となり結婚し、子供が産まれてからというもの機会に恵まれず、又行きたいという衝動に駆られる事も無く、もはや趣味では無くなってしまいました。今回「私の宝物（趣味）」につきまして、昨年私が初めて体験し今後趣味となりうるであろう登山について書かせて頂こうと思います。

今年の6月22日、富士山が世界遺産に登録されたというニュースを見て、昨年の6月30日～7月1日にかけて、OS会の非公式行事として催されました富士登山に一人欠員が出た補充という形で、運命的に参加させて頂いた事を思い出しました。なんとなく日本一高い山へ死ぬまでに一度行ってみたいと思ってみても中々思い切って計画し行動するに至らない私にとって朗報でした。OS会現役+OBの方々を含め10数名にて、事前に居酒屋で富士登山に必要な物や高山病にかかる様にするにはどうすれば良いのか等、山登り初心者の私にとってとても有意義な決起集会も行われ、登山グッズを持ち合わせていなかった私は、レンタルで一式を借りる事も出来ましたが、万が一、靴が合わないまま登り続ける事

だけは避けたかったので登山靴のみを購入し、カッパ等は登山が趣味の会社の方にお借りして当日を迎える事となりました。

6月末の富士山五合目は、都会の湿気の高い蒸し暑さではなく、むしろ肌寒さを感じる気候でした。ここで残念な出来事が起こりました。同行されていた先輩が山頂でパンパンにふくらむポテトチップスを見せてくれるというで楽しみにしていたのですが、五合目付近のバスの中で既にMAXを迎ってしまうハプニングが起こりました。初めての登山で驚いた事は、上れば上がるほどトイレが有料になり、ミネラルウォーター等の価格も高くなる事、本八合目の山小屋での仮眠は100人位が2段に仕切られたスペースで頭の上にリュックを置き、ぎゅうぎゅう詰めで眠るがあたり前だという事でした。

今回悪天候の為に本八合目より上へ登る事が出来ず又、御来光を拝む事も出来なかった事が悔やまれましたが、現在となっては登山中の辛さやしんどさの記憶はなく、下山後の風呂上がりのビールの旨さだけが残っており、せっかく買った登山靴が靴箱の肥やしにならぬ様、子供を連れて二上山へ行ってみようと思っています。

表紙のことば

世界文化遺産 富士山

弘陽工業(株) 中上 善起

平成25年6月、国連教育科学文化機関(ユネスコ)は日本政府が推薦した「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」を世界文化遺産に登録致しました。日本で世界遺産に登録されているのは全部で17(自然遺産4文化遺産13)、世界遺産が一番多いのはイタリアで、45の登録があるそうです。

今年の夏のお盆休みに、嫁さんの実家(山梨県韮崎市)に家族で長期滞在させていただく事になり、「よし!世界文化遺産に登録され



た富士山の写真を撮っておこう。」と猛暑の中、山梨県韮崎市から甲府市周辺を回ったのですが、どこに行っても霞(スモッグ)がかかっていて富士山は撮影できませんでした。申し訳ございません。

表紙の写真は、義理の弟が富士急ハイランド→ハイランドリゾートから撮影した昨冬の富士山です。失礼致しました。

今後の主な年間スケジュール

2013.9

| 日 時 | | | | 行 事 (予 定) | 場 所 |
|-----------------------------------|------------------|------------------------|---|-----------|---|
| 9 11 11 20 | 水 水 金 | 13:30 15:00 | 三役会 理事会 広報誌(85号)発行 | | 事務局 健保会館 |
| 10 17 | 木 | 9:30 | ねじ工場見学と研修会 | | 日本鉄螺(株) |
| 11 8~9 10 13 13 22 | 日 水 水 金 | 13:30 15:00 9:30 | 第20回 FEセミナー(図面の見方・描き方) 第5回テニス大会 三役会 理事会 第2回 FEセミナー(Jrコース) | | テクノセンター東大阪 シーサイドテニスガーデン舞洲 事務局 健保会館 鉄鋼会館 |
| 12 6 6 | 金 金 | 16:30 18:30 | 講演会 忘年会 | | ホテルグランヴィア大阪 ホテルグランヴィア大阪 |
| 2014 1 9 | 木 | 10:00 | 新年互礼会(関西ねじ協共催) | | シティプラザ大阪 |
| 2 20 21 21 23 | 木 金 金 日 | 14:30 16:00 9:30 | 広報誌(86号)発行 三役会 理事会/役員懇親会 第40回ボウリング大会 | | ヴィアーレ大阪 ヴィアーレ大阪 弁天町グランドボウル |
| 3 7~8 12 12 | 水 水 | 13:30 15:00 | 第2回 FEセミナー(Stコース) 三役会 理事会 | | 大阪ガス奥池ロッジ 事務局 健保会館 |
| 4 23 23 | 水 水 | 11:30 14:00 | 三役会 理事会 | | 事務局 健保会館 |
| 5 23 | 金 | 14:00 | 通常総会 | | ヴィアーレ大阪 |
| 6 11 11 | 水 水 | 13:30 15:00 | 三役会 理事会 | | 事務局 健保会館 |
| 7 中旬 27 | 日 | | ねじ流通商社経営実態調査 第66回野球大会① | | (8月回収) 村田機械(神足球場) |
| 8 3 24 | 日 日 | | 第66回野球大会② 第66回野球大会③ | | 村田機械(神足球場) 未定 |

*6月以降は予定です。

編集後記

暑さ寒さも彼岸まで、暦の上ではこれから快適な季節となり何事も渉る事と存じます。

『大鉄協』85号発行にあたりましては、寄稿文ありがとうございました。

広報委員会と致しましては、社長様のみならず従業員皆様が『大鉄協』を拝読して頂ける事を目標にしております。

次号が待遠しいと言われるよう頑張ります。

(北川浩史)

発行所
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
(ツチノビル)

大阪鉄螺卸商協同組合
電話 (06) 6271-4550

印刷所
〒537-0013 大阪市東成区大今里南2-5-5
株式会社 ベン・アート
電話 (06) 6973-3338

大阪鉄螺卸商協同組合の 保険相談窓口

大阪鉄螺卸商協同組合では、組合員の皆様のための、保険相談窓口をご用意しております。既にご加入の保険の見直しや、新たにご加入になるとご相談等を承っておりますので、是非ご活用ください。

取扱商品

医療・がん・傷害保険

生命保険

自動車保険

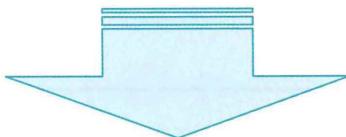
超保険

火災保険

賠償責任保険

* 生命保険・医療・がん保険のお引き受けは、東京海上日動あんしん生命(株)の商品で
(株)東海日動パートナーズ大阪南にて引き受けとなります。

この他にも多数商品を取り揃えております。
お見積もり、ご相談は無料ですので、
お気軽にお問い合わせください。



お問い合わせ先

大阪鉄螺卸商協同組合
担当：中西

〒542-0081 大阪市中央区南船場2-6-10
ツチノビル
TEL 06-6271-4550 FAX 06-6271-0514

提携代理店 株式会社東海日動パートナーズ大阪南 TEL 06-6649-6727
担当：井上 HP:<http://www.tnp-osakaminami.com/>

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社 TEL 06-6212-3531
大阪南直轄S